

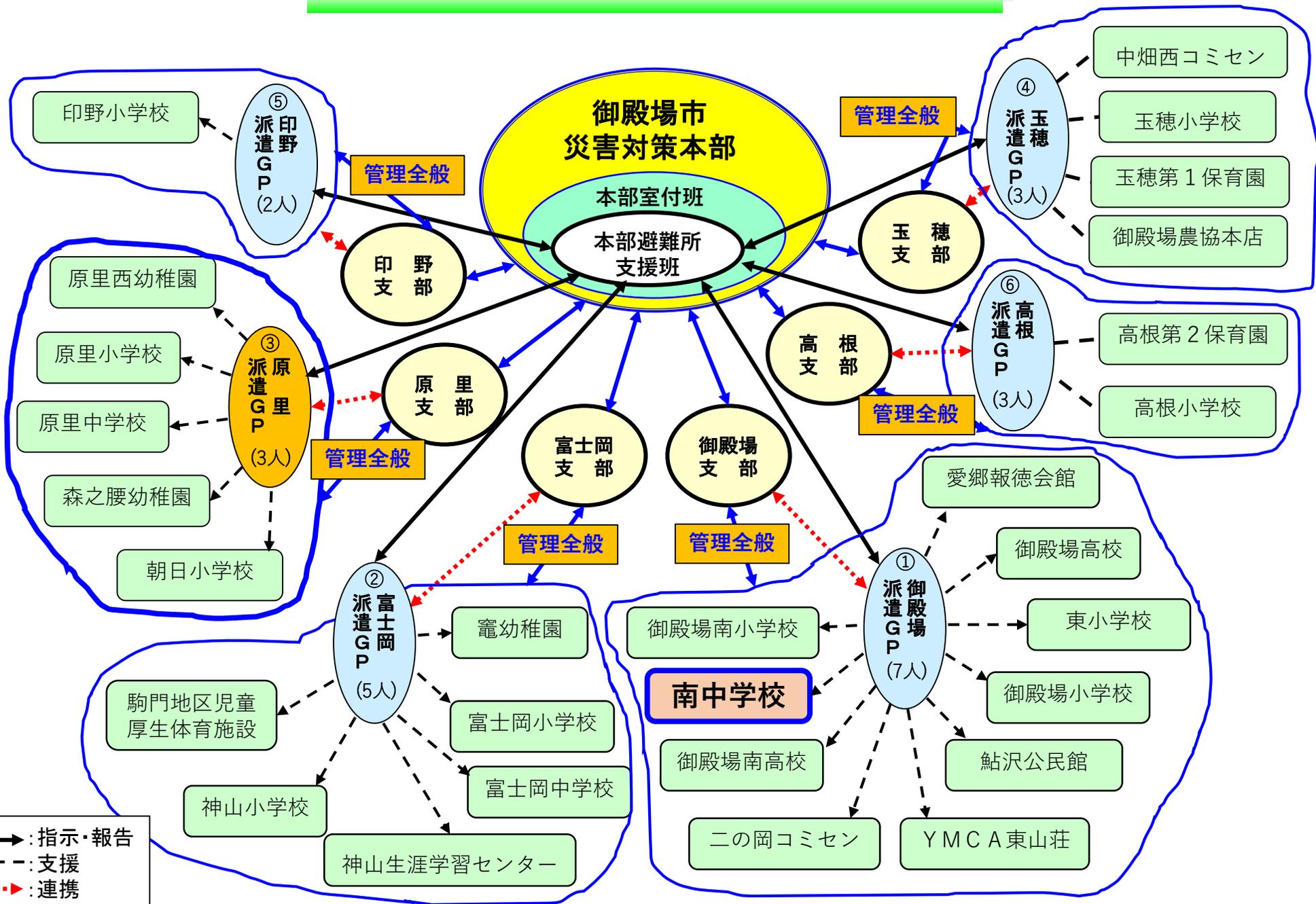
『永原区自主防災訓練について(計画・成果)』 ～ 市指定避難所・南中学校における開設・運営訓練 ～



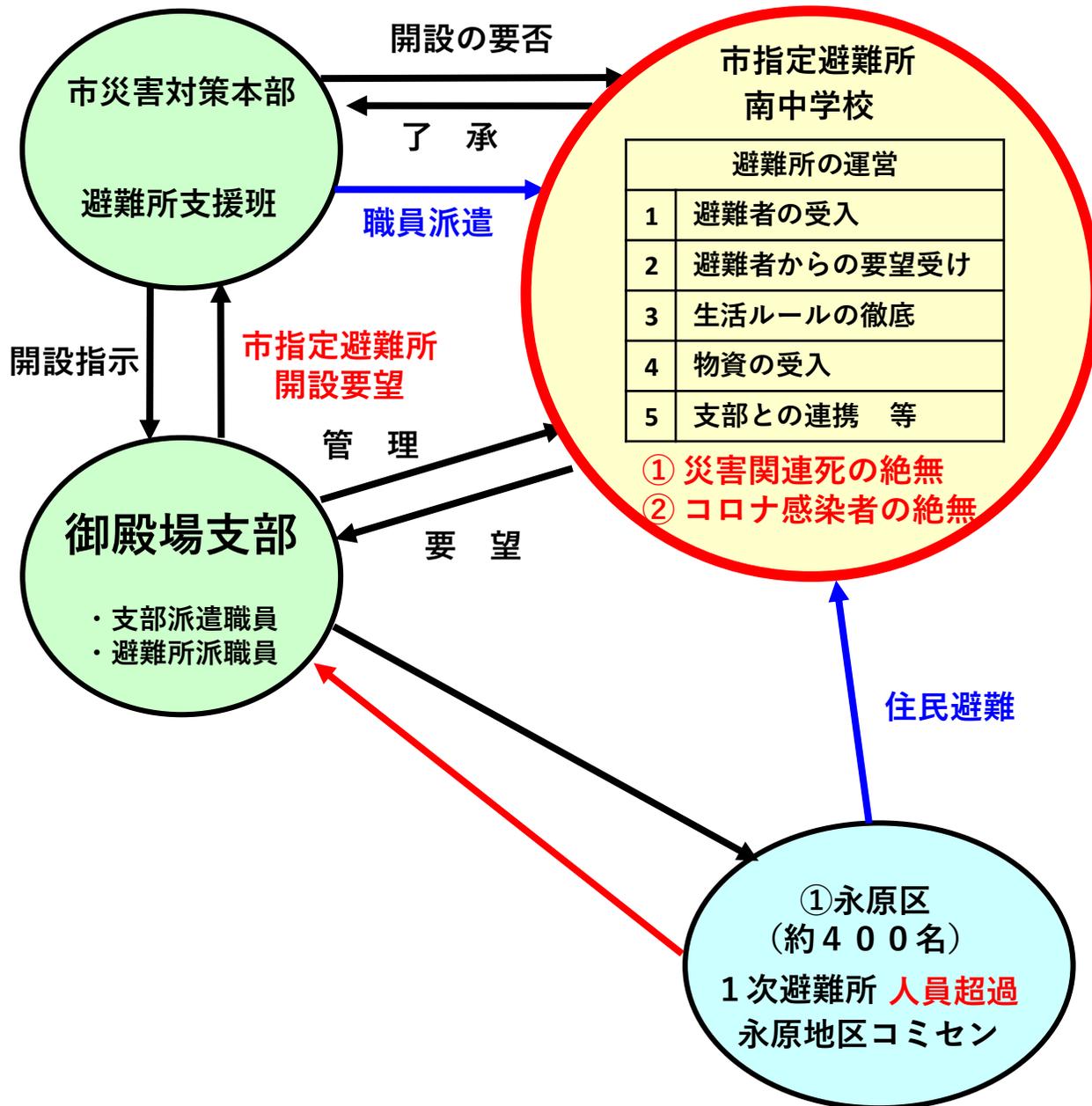
R 6 . 1 1 . 2 4
御 殿 場 市 危 機 管 理 課

QR:御殿場市役所防災出前講座
PC検索：〃

御殿場市指定避難所運営組織



南中学校避難所関係組織連絡網



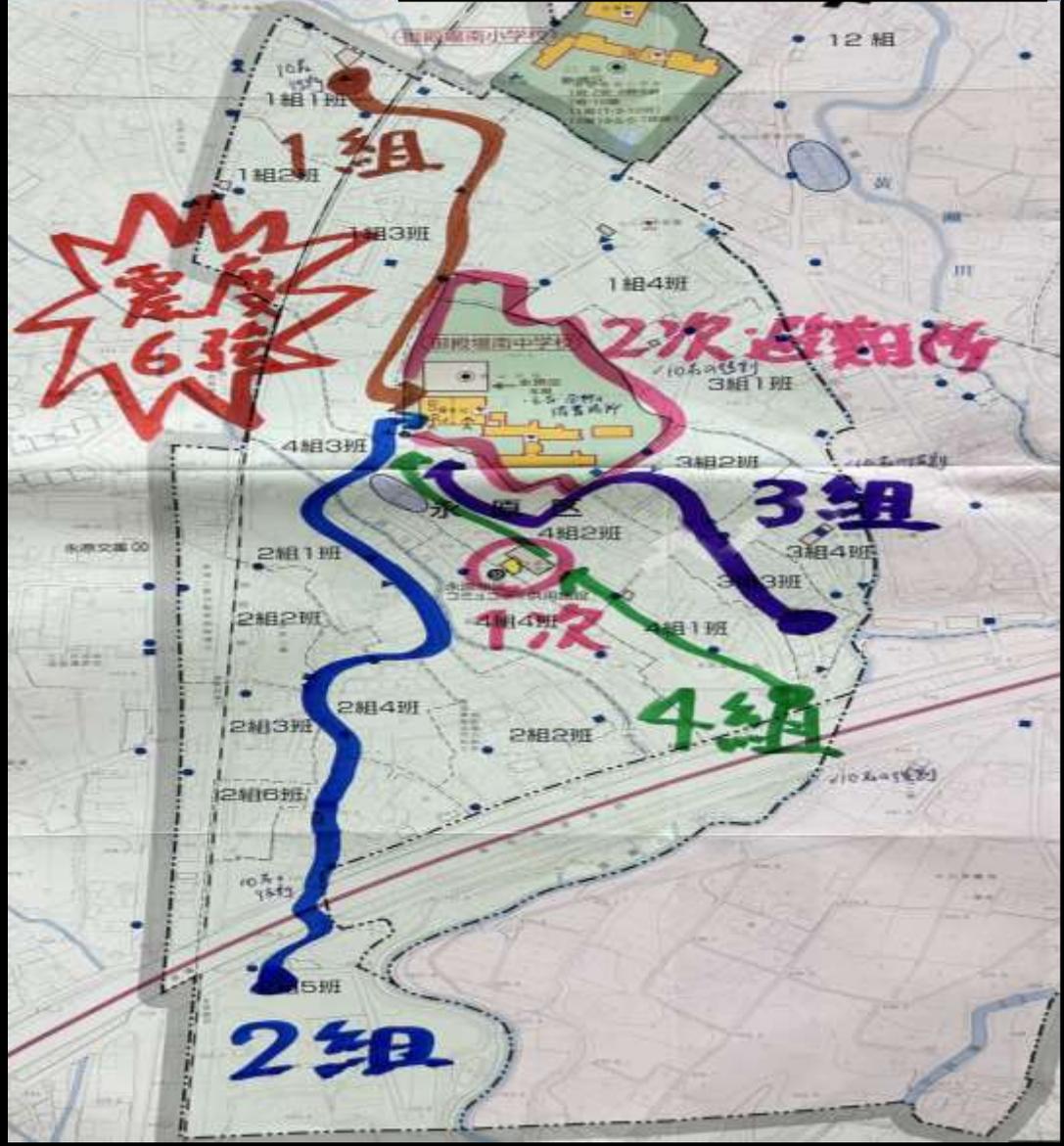
永原区災害対策運営本部	
本部長	
副本部長	
①総務班	
②情報班	
③食料・物資班	
④保健・衛生班	
⑤要配慮者班	
⑥警備・施設管理班	



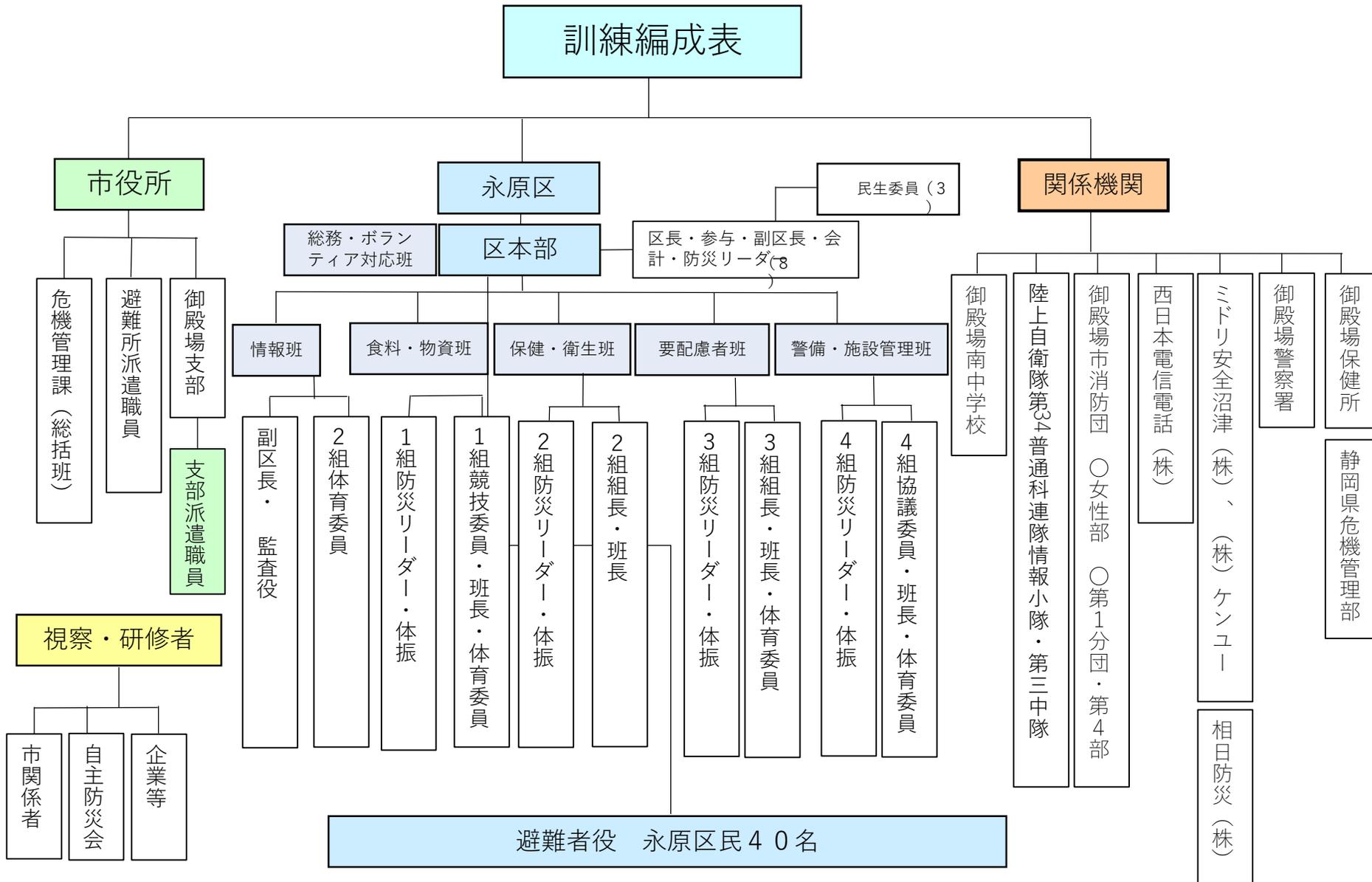
永原区民数：2,103名
 (避難行動要支援者：65名)
 (個別避難計画作成対象者22名)

避難先	1次避難所・市指定広域避難場所・避難所
避難所	市立御殿南中学校
避難所	永原地区コミュニティ利用施設
避難所	市立御殿南中学校

令和6年度モデル区訓練 避難経路
 御殿場地区 永原区 (2,103人)
 場所：南中学校 体育館



令和6年度御殿場市地域防災訓練モデル区訓練編成表

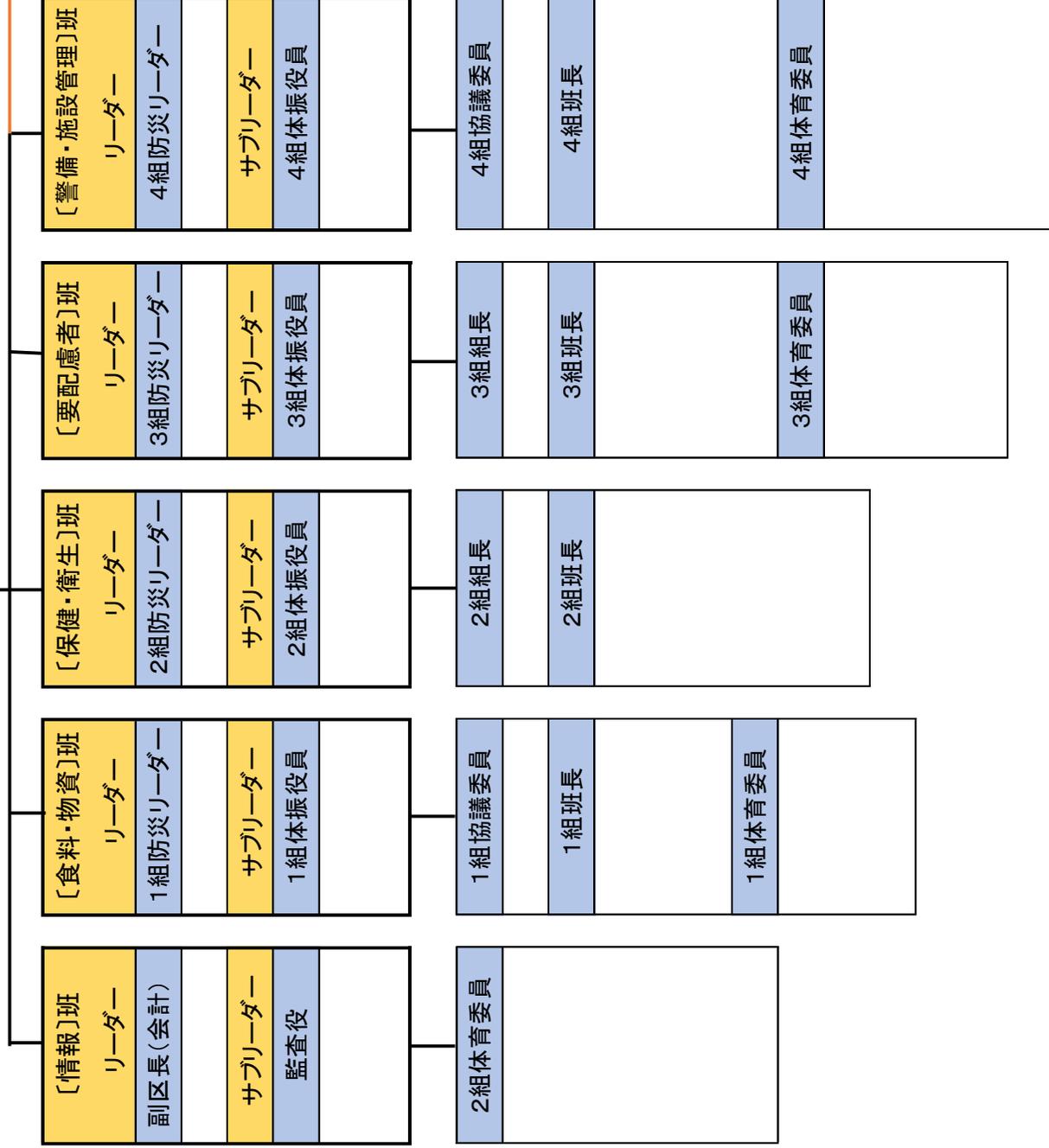


【令和6年度永原区自主防災会組織図・緊急連絡体制】

〔総務・ボランティア対応〕班			
防災会長	防災部長	防災副部長	2次避難体制の 班リーダーが兼務
区長	参与	副区長	会計・防災リーダー

2次避難体制
(立ち上げ時)

民生委員



避難運営組織班
(避難利用者主体:代表者は男性と女性)

2次避難体制
(継続初期~1w)

付与情報	項目区分	実施時間(予定時間)	情報源(だれが)	受意者(だれに)	対応者	件名	情報内容
1	生活ルール の設定	8:30	防災会長	総務班	総務ボランティア 対応班	生活ルール、スケジュール表の作成	避難所での生活ルールとスケジュール(生活時間)を決定して掲示してください。
2	感染症対策 の設定	8:30	防災副部長	保健衛生班 情報班 情報班受付	保健衛生班 班 班	感染症対策のための環境改善	定期的な換気、ドアノブなどのこまめな消毒、避難所の清掃等避難者が交代制で定期的な清掃するようルールを決めて総務班に提出してください。
3	避難者の 受入	8:30	避難者	避難者情報班	避難者情報班	永原区一部損壊家屋からの世帯避難	1組 豪雨さん【男59歳】一部損壊 世帯主、妻【女48歳】、長男【30歳】
4	立入禁止 場所の設 定	8:30	避難所 派遣職員	防災副部長	立入禁止場所の設定	立入禁止場所の設定	御臨場市避難所派遣職員です。避難者が職員室等に入られると困ります。職員室につながる通路やその他の危険な場所を取り巻き立ち入り禁止にしてください。
5	物資支援	8:33	避難所 派遣職員	防災副部長	物資班	物資(簡易トイレ、毛布、食料)の配布	追加物資(毛布100枚、食料(パンの缶詰、アルファ米))をお渡します。避難所に届くまで、受入れの準備をお願いします。
6	避難者の 受入	8:35	避難者	避難者情報班 情報班受付	避難者情報班 要配慮者班	永原区全壊家屋からの世帯避難	1組 床上さん【男45歳】全壊 世帯主、母【80歳】 母は軽度の認知症なので、避難所生活が少し心配。
7	情報機材 の設置	8:36	NTT職員	情報班	特設公衆電話の設置等	NTTの依頼ですが、特設公衆電話を開設しますので、担当の方は一緒にお願いいたします。また、電話の状況ですが、全力で復旧作業中です。しばらくご不便をおかけしますがよろしくお願いします。	
8	避難者の 受入	8:40	避難者	避難者情報班 情報班受付	永原区全壊家屋からの世帯避難 (高齢者世帯、要配慮者)	永原区全壊家屋からの世帯避難	4組 急傾斜さん【男60歳】全壊 世帯主、妻【女55歳】 妻は避難する際に二転一転しまい、腕を負傷してしまっ
9	トイレ	8:41	避難者	総合 相談窓口	避難者からの要望	避難者からの要望	1組 床上ですが、トイレは使えますか?あと、消毒液などは置かれていますか?
10	ボランティア のニーズ の把握	8:43	避難所 派遣職員	防災副部長	ボランティアニーズの把握と要望	ボランティアニーズの把握と要望	市災害対策本部から情報ですが、約30分後に担当者がニーズ調査に行きますからよろしくお願ひします。避難所内でのニーズを把握しておいて下さい。
11	避難者の 受入	8:45	避難者	避難者情報班 情報班受付	避難者情報班 要配慮者班	永原区半壊家屋からの世帯避難 (要配慮者)	4組 床下さん【男40歳】半壊 世帯主、妻【女40歳】、長男【男9歳】 長男は額から出血。また長男は知的障害があり、療育手帳を所持
12	情報伝達	8:47	避難者	総合 相談窓口	避難者情報班への掲示	避難者情報班への掲示	1組の豪雨ですが、停電はいままで続くのですか。
13	避難者の 受入	8:50	避難者	避難者受付 情報班	避難者情報班 要配慮者班	永原区感染症の疑いのある避難者 (発熱者あり 妊婦世帯)	3組 噴火さん【男35歳】半壊 世帯主、妻【女35歳】、母【女62歳】 世帯主は熱があり体調が不良、妻は妊娠6ヶ月
14	避難者の 受入	8:55	避難者	避難者受付 情報班	避難者情報班 総務ボランティア 対応班	永原区被害なし(家屋からの世帯避難 (車中避難、ボランティアの要望))	2組 遊楽さん【男40歳】被害なし 世帯主、母【女66歳】、長女【女38歳】、長女【13歳】余震が怖いので避難したいと、どこかで地震グッズや食器棚が倒れてしまっって片づけしないと家に入れない。ボランティアをお願いします。
15	ごみ出し	8:55	専用スペース 避難者	専用スペース 受付	ごみ出しルールの徹底	ごみ出しルールの徹底	3組の噴火ですが、食事のごみを出したいのですが、どこに出せばいいのですか。 可燃物、不燃物、空き缶まとめて出してもいいですか。
16	報道対応	8:58	新聞記者	総合 相談窓口	報道機関の取材対応	報道機関の取材対応	テレビ御殿場で、取材に参りましたが報道用の駐車場の確保はあります。避難所運営本部はど こですか。インタビューもお願いします。
17	避難者の 受入	8:50	避難者	避難者受付 情報班	避難者情報班 要配慮者班	永原区イベントを運んだ世帯避難 (高齢者世帯、ベント同行)	2組 耐震さん【女40歳】全壊 妻、母【女62歳】、祖母【80歳】 世帯主と連絡が取れない。乗犬1匹を連れてきた。
18	トイレ	8:50	協定業者	防災副部長	保健衛生班	協定業者による仮設トイレの設置	災害対策本部ですが仮設トイレが到着しました。ここに設置しましょうか。
19	帰宅困難 者対応	8:53	避難所 派遣職員	防災会長	避難者情報班	観光バスへの観光客避難者の対応	後ほど、帰宅困難となったバスツアーの旅行者が避難してきます。受入をお願いします。
20	避難者の 受入	8:55	避難者	避難者情報班 情報班受付	避難者情報班 保健衛生班 要配慮者班	永原区アパート半壊からの外国人世帯 (要配慮者)	3組 ガルさん【男46歳】アパート全壊 世帯主、妻【女46歳】、アズル人世帯。世帯主は家具 を下敷きから自力で脱出。左足下部を負傷。自力歩行困難
21	避難者の 受入	9:00	避難者	避難者情報班 情報班受付	避難者情報班 要配慮者班	永原区一部損壊家屋からの世帯避難 (高齢者世帯、ベント同行)	4組 朝顔さん【男60歳】全壊 世帯主、父【男92歳】 ベント同伴での避難。今、避難してききましたが、たはははここで吸えばいいですか。
22	要配慮者 窓口相談	9:01	避難者	要配慮者 相談窓口	要配慮者班	福祉避難所への移送依頼	4組 床下ですが、息子は避難所の環境に適応できず興奮状態が続いており奇声を発して います。どこか別の場所に移してもらうことはできませんか。
23	安否確認	9:03	来客者	総合 相談窓口	避難者情報班	住民の安否確認	すみません。1組の床上さんは避難してきていますか。
24	避難者の 受入	9:05	避難者	避難者情報班 情報班受付	避難者情報班 保健衛生班	永原区一部損壊家屋からの世帯避難 (ベント同行)	3組 海清さん【女40歳】一部損壊 次男【男18歳】 猫1匹を連れてきた。ベントはどうかしら良いか。
25	健康支援	9:06	避難所派遣 職員	防災副部長	保健衛生班 要配慮者班	体調不良者の把握	本部より避難所の健康支援に来ました。 体調不良の方や怪我をしている方の人数や状況を教えてください。
26	物資支援	9:08	避難所派遣 職員	防災副部長	食料物資班	支援物資の到着	市の避難所派遣職員です。物資を持ってきてきましたので受入れをお願いします。
27	警備	9:08	避難所 派遣職員	防災会長	警備施設管理班	避難所内外の巡回	避難所派遣職員ですが、防火・防犯のため2時間に1回2人1組で巡回してもらえませ んか。
28	避難者の 受入	9:10	避難者	避難者情報班 情報班受付	避難者情報班 保健衛生班	永原区全壊家屋からの世帯避難 (発熱者あり)	4組 遠州瀬さん【男41歳】全壊 世帯主、妻【女40歳】、長女【女10歳】妻は熱と咳がひど い。
29	ボランティ アのニーズ 調査	9:12	避難所派遣 職員	防災副部長	ボランティアニーズの調査	ボランティアニーズの調査	市のボランティア担当職員ですが、ボランティアニーズの調査に参りました。 ボランティアニーズがあれば教えてください。
30	避難者の 受入	9:15	避難者	避難者情報班 情報班受付	避難者情報班 要配慮者班	永原区感染症の疑いのある避難者 (発熱者あり)	3組 風呂さん【男50歳】一部損壊 世帯主、母【女88歳】 妻は咳から来る。母は熱と咳がひどいですが、どこか部屋はありますか。私が面倒を見 るので避難場所は一緒にしてほしい。
31	避難者の 受入	9:18	避難者	避難者情報班 情報班受付	避難者情報班 保健衛生班 要配慮者班	永原区一部損壊家屋からの世帯避難 (ベント同行)	1組 一部損壊 長男【男20歳】、次男【男18歳】 犬1匹を連れてくる。(世帯主不在での避難)
32	帰宅困難 者対応	9:20	ツアーの 代表者	防災会長	観光バスへの観光客避難者の対応	観光バスの中での地震に遭遇しました。高速道路や国道が通行止めになりしりばらく閉くら せません。対策本部の指示を受け避難して参りました。ツアー客の中に少し具合の悪い方がいま す。道路が復旧するまで入れてもらえませんか。	

避難所運営上必要な事項

◇ 避難所運営本部の設置

- 自主防災組織中心の避難所運営が基本
- 行政職員や施設職員に依存し過ぎない。
- ボランティアの力を最大限活用

◇ 各班(6)の活動内容(役割分担) ⇒ 永原区バージョン

① 総務・ ボランティア班	運営本部会議の事務局、運営・記録、生活ルールの作成 取材対応、市本部・地域との連携、他班への応援
	ボランティアニーズの把握、派遣要請、受入
② 情報班	受付・案内、名簿管理、問い合わせ対応
	情報収集、情報伝達、情報発信
③ 食料・物資班	食料・物資の調達、炊き出し、食料・物資の受入 物資の管理・配給
④ 保健・衛生班	トイレ、衛生管理、傷病者への支援、生活用水の確保 ペット、ごみ、掃除、風呂
⑤ 要配慮者班	要配慮者スペースの確保、相談窓口の設置 要配慮者の状況・ニーズ把握、福祉避難所への移送
⑥ 警備・ 施設管理班	安心・安全な避難所作り、防火・防犯
	訓練時の安全確保(車両事故防止、歩行者・車両の誘導)

令和6年度地域防災訓練モデル区訓練時程

時間		08	09	10	11			
業務全般		<p>地震発生</p> <p>★初動行動</p> <p>①支部・避難所開設訓練</p>	<p>②支部運営訓練 (08:40~10:45)</p> <p>②避難者受入れ委訓練 (08:30~09:30)</p> <p>④避難所運営状況の研修 ⑤避難所体験・防災教育 (09:30~10:45)</p>	<p>③避難所継続運用訓練 (09:30~10:45)</p>	<p>④訓練振り返り (10:45~11:00)</p> <p>⑤閉会式</p>	撤収		
市長視察		訓練視察・激励・閉会式(講評)						
永原区自主防災会	区本部・区役員	①2次避難所開設訓練 (08:10~08:30)	避難者受入れ訓練 (08:30~09:30)	③2次避難所継続運用訓練	④訓練内容の振り返り			
	被災者役	①班避難場所集合・状況把握	②市指定避難所(南中)へ移動	③避難者役としての行動 (08:30~09:30) 各組×10名基準(計40名) 参加者:各人に役割を付与		<ul style="list-style-type: none"> 総務・ボラ対応班: 情報班: 食料・物資班: 保健衛生班: 要配慮者班: 警備・施設管理班: 		
				④避難者受入れ訓練見学 (展示担当班 (08:30~09:30))			⑤避難所体験・防災学習 (09:30~10:45) (体験・学習後解散)	
								1組
3組	4組							
		1組	2組	3組	4組			
管理者	南中学校	①2次避難所開設訓練 (08:10~08:30)	②避難所受入れ訓練 (08:30~09:30) ・施設管理、区避難所運営支援	③2次避難所継続運用訓練 全般支援 (09:30~10:45)	(10:45~11:00)			
行政	避難所派遣職員				(11:00~11:15)			
	御殿場支部(支部派遣職員)	①支部開設	②支部運営訓練 (08:30~09:30) ・区との連携、状況把握、支援業務					

避難所運営本部の行動

◇ 各班(6)の活動内容 ⇒ 永原区バージョン

<p>① 総務・ボランティア班</p>	<p>①生活ルールの設定、⑩報道対応、⑱帰宅困難者の受入要請 ⑩ボランティアニーズの把握、⑭避難者からのボランティア要請、⑲ボランティアのニーズ調査</p>
<p>② 情報班</p>	<p>③⑥⑧⑪⑬⑭⑰⑳㉑㉔㉘㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿避難者の受付・案内 ⑦特設公衆電話の設置、⑫情報掲示板の設置、⑲住民の安否確認</p>
<p>③ 食料・物資班</p>	<p>⑤物資の受入準備、⑮物資の受入・配給</p>
<p>④ 保健・衛生班</p>	<p>②感染症対策のための環境改善、⑧⑪㉑負傷者の応急処置、⑨トイレの使用、⑮ゴミ出しルールの徹底、⑰㉔㉛ペットの受入、⑱仮設トイレの設置、⑲㉘㉚体調不良者等の把握</p>
<p>⑤ 要配慮者班</p>	<p>⑥⑪⑬⑰㉑㉒要配慮者の把握、⑲相談窓口対応 ⑲㉘㉚体調不良者等の把握</p>
<p>⑥ 警備・施設管理班</p>	<p>④立入禁止箇所の設定、㉗避難所内外の巡回</p>



避難所設営・運営全般図（レイアウト）



避難所の全景図



避難所運営本部（支部・区・避難所派遣職員）



避難所運営本部（各班①）



避難所運営本部（各班②）



避難所運営本部（各班③）



避難所継続運営訓練



情報班によるミーティング



各班長による活動報告・調整



各班長による活動報告・調整



区長による全般的事項の確認

防災教育・装備展示



ミドリ安全(株)・(株)ケンユによる簡易トイレ



NTT西日本株による災害用伝言ダイヤル



永原区自主防災会による防災教育



危機管理課よる防災用品の展示



女性消防団による救急救命訓練



相日防災(株)による防災グッズの展示



家具固定用品の説明



避難所運営マニュアル(壁新聞版)

閉会式



土屋永原区長による挨拶



勝村南中学校校長による挨拶



視察研修・支援機関・訓練参加者



勝又御殿場市長による挨拶

令和六年度 御殿場市地域防災訓練 モデル区(永原区)訓練



発行所
株 岳 麓 新 聞 社
御殿場市市街新築669-25
電話05550820080
網 集 FAX05550820088
広 告 専 用 電 話05550820831

ご葬儀一式承ります
青葉ホール
電話〇五五〇八三一八一六二番
御殿場乙女口より徒歩十五分

御殿場市地域防災モデル区訓練

永原区で自助・共助高める

御殿場市永原区(土屋正区長)は24日、区内や市立南中学校を会場に突発型の大規模地震災害を想定した「令和6年度市地域防災訓練・モデル区訓練」を実施し、区民・市職員、県・民間事業所、陸上自衛隊板敷第34普通科連隊、永原区以外の自主防災会員など約700人が参加して地域防災力を高めた。



太陽光発電装置で調理する永原区民ら

今回は相模トラフを震源とする大規模地震が突発発生し、市内で震度7を観測した。被災により、市内各所で家屋の倒壊、道路損壊、橋梁落下などの被害が発生し、家員などの転倒

や家屋倒壊で多数の死者を見込み、交通機関やライフラインに大きな被害が生じて使用できなくなったなどと想定。訓練では、家庭内の安全確保、情報収集・伝達、避難所運営、衛生管理、要配慮者支援、受援体制の構築、避難所内外での防犯・警備活動などを行い自助・共助力の向上を図った。食料・物資は太陽光発電装置を用いた調理で温かい食べ物を提供するなどの実証実験を行った。視察した勝又正美市長は「今回はベットの同行避難、要配慮者への円滑で適切な対応、感染症拡大防止などをテーマに実施して大変良かった。区独自で支援の受け入れと統制の訓練を

寄り道マルシェ まちがオシャシな空間に

御殿場市民らでつくる「寄り道マルシェ実行委員会」(加藤照美実行委員長)は24日、鶴沢商店街で中心市街地活性化事業「寄り道マルシェ」を初開催し、御殿場、小山両市町の買い物客でにぎわった。実行委員会は市民らでつくる御殿場100人ミラノ会議から派生したグループ。催しは空き店舗や私有地の余白空間に雑貨店を出店し、商店街を回遊してもらい、まちの姿を来場者と住民などに体感



出版物と交流しながら買い物をする親子

実施し、防災力を高めてくれた。支援物資は入ってくるが、仕切り役と配布役が重要になる。今後も継続して訓練を実施し、地域の実情に合った防災力を高めていく」と話した。12月1日の地域防災訓練には、モデル区を

除く市内57自主防災会が参加して、市民など約2万6000人が大規模地震、富士山噴火などを想定した訓練を実施する。御殿場区は8日に実施する。問い合わせは市危機管理課(☎82・4370)へ。

は令和6年度市一般特別会計補正予算案など16案件を上程する。**開 12 月 定 例 会 会 謁 野 市**

謁野市議会は25日、12月定例会を開会し、会期を12月10日までの16日間に決めた。市当局は12案件を上程した。一般審問は4日から6日まで行われ、議員7人が登壇する。

親子英語 参加者募集

御殿場市市民会館は12月13日午前10時から和室で市民カルチャー教室「0歳からの親子えいご教室」を開催する。教室ではクリスマスをテーマに歌やダンス、読み聞かせなどで英語を学ぶ。対象は6か月から3歳までの親子。定員は先着8組。受講料は1530円。申し込みは市文化会館(☎83・8000、F



発行所
 (株)岳麓新聞社
 御殿場市新築669-25
 電話0550820080
 FAX0550820088
 広告専用 電話0550828321

永代供養
 生前申込可
 一室33万円
 宗教不問
 やすらぎ 霊園
 三明寺
 永代供養三明寺 後援
 055-929-2323
 沼津市大塚三明寺4051(〒410-0271)

中北駿で地域防災訓練 自助・共助の力を高める

県内の各自主防災会を中心とした県地域防災訓練が1日、県内各所で行われた。御殿場、裾野、小山2市1町では晴天の下、乳幼児や小・中・高校生を含む地域住民約2万6000人が参加して大規模地震、富士山噴火などを想定した訓練を実施し、地域防災力を高めた。

地域防災訓練は「地域防災の日」にちなみ、地域の特性に応じた自助・共助を主体とした防災体制の確立と防災意識の高揚による「減災」が目的。地域状況に応じた安否確認や避難訓練、誰もが安心して避難生活を送ることができるとして、訓練は、大規模地震、富士山噴火、津波の発生などを想定。

【御殿場市】午前9時から、モデル区の永原区、御殿場区を除いた市内57の各自主防災会が各地区コミュニティセンター、公民館、公園、幼稚園、小中学校など約60か所を会場に市民2万1028人が参加した。訓練は、10月15日に紀伊半島沖を震源に仮想の令和南海地震(M8、震度6弱)が発生以降、富士山の火山活動が高まり、気象庁が11月3日に臨時火山情報を発

表した。その後、段階的に警戒レベルが上がった。12月1日午前9時に噴火して溶岩流の流出を確認し、市民に避難指示を発令した。訓練は、各自主防災会、市消防団、消防隊を中心に陸上自衛隊板妻第34普通科連隊、事業所などが参加しながら、黄色いハンカチ作戦、安否確認、避難所運営、救命・応急手当で、初期消火、炊



毛布の応急担架で緊急搬送する参加者ら=御殿場市



炊き出しを配るJA女性部員ら=小山町

き出し、高齢者など災害弱者の避難誘導を行った。秋原区(野木明宏区長)は秋原公民館などを会場に防災訓練を実施し、区民627人が参加した。区内は、東西に小山川が流れ、北側に国道138号、西側に国道246号、主要県道3道が走り、市役所や市民会館、市立図書館、中央公園など重要な公施設がある住宅密集地。国道や県道沿いに大型商業施設がある。同区では区域が広いが、モデル班が持ち回り実働訓練を行っている。今回は区内西側の入組がモデル班になり、神明会館などを会場に組員77人が参加して、AEDによる心肺蘇生、初期消火訓練、非常食の試食などを行い、自助・共助の重要性を再認識した。救急搬送訓練では、市消防団員と一緒に毛布やカーテンなどの布と竹ざおで作った応急担架による緊急搬送を体験し、迅速で安全な搬送方法を学んだ。御殿場区は8日に地域防災訓練を実施する。【小山町】午前9時から、各自主防災会40区の町民約5000人が

参加した。訓練は、神奈川県西部を震源とする震度7の地震が発生し、家屋倒壊など甚大な被害が発生したとの想定。町立北郷小学校では一色、大胡田、上古城、下古城の4区(793世帯、2230人)がモデル地区訓練を実施し、住民、町職員、陸上自衛隊板妻第34普通科連隊、町消防団など約2000人が参加した。込山正秀町長は開会式で「元日に発生した令和6年能登半島地震ではいまだ復旧が終わらず、被災地は正月を迎える。今回の訓練想定は約100年前の関東大震災と同規模で、当時は町内で150人が亡くなり、住宅など5000戸が倒壊した。いつ起こるか分からない地震に備えよう」とあいさつした。JA女性部北郷支部と陸上自衛隊は野外炊事車で豚汁とアルファ米のおにぎりの炊き出し訓練を実施し、ペット同行避難講座、町防災士会女性防災士有志らの100円グッズを活用した非常持ち出し袋の展示を行った。町職員などのは「炊き出しが行われるのは早くても発災から3日以上経過してからになる。パンやビス

参考資料



避難所の 設備・備品例

Shelter

トイレ

仮設トイレ #83, #84



マンホールに直接汚水を流せるタイプや車イスでも利用できる仮設トイレもあります。

脱臭剤 #84



除菌・消毒剤 #38



様々な人が集まる避難所では特に衛生面に注意。入口付近、トイレ・洗面所には必ず常備しましょう。

投光機 #34



発電機 #35



避難所では原則として火が使えません。電子レンジやポットをみんなで作る場所に用意しましょう。

メガホン #72



給水容器 #61



給食・給水

大型炊き出し器・炊飯用具 #63~65



石米を臼がすに小分けして、多人数のご飯を炊ける炊飯器もあります。

給食用具 #62



テント #73, #74



浄水器 #66

プールの水などを浄水します。



貯水槽 #78



炊事場

赤外線暖房器 #76



入浴・睡眠

肌着セット、オムツ #39



ウェットタオル #38



マット、カーペット、毛布、簡易ベッド、シュラフ #75~77



間仕切り #75



担架ベッド #32



救急箱 #37



プライバシー

簡易トイレ #81, #82



更衣室 #75

更衣室を設けるとは着替えの他に、簡易トイレとの組み合わせで室内トイレができ、外のトイレを使用することが難しい方などのプライバシーも守れます。



消火器、三角消火バケツ #25



ライト、ラジオ #67~#72



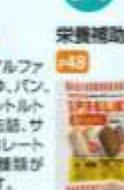
保存飲料水 #56



保存食料 #45~#55

栄養補助食品 #48

カンパネ、アルファ化米、おかゆ、パン、粉ミルク、レトルト食品、栄養缶詰、サラダ、チョコレート等、豊富な種類が揃っています。



震災における避難所運営業務（その1）

区 分	実 施 項 目	準 備 段 階
市災害 対策 本部 支 部	1 避難所設置・管理・運営要領の検討 2 避難所・福祉避難所等指定・協定 3 避難所派遣職員の受入れ要領の確認	1 避難所管理・運用要領（学校・自主防災会等との役割分担）の検討 2 一次避難所、市指定広域避難所（福祉避難所）の指定、協定締結 3 災害対策本部との連携、避難所派遣職員の受入れ・連携要領の確認
学 校	1 災对本部の確立、避難所計画の作成 2 初動体制、管理体制の移行要領	1 災害対策本部の確立、学校避難所計画の作成及び災对本部会議の要領 2 初動対処要領、時間経過に伴う自主防・災对本部（支援班）への移管
自主防会	1 運営本部の確立、運営計画等の作成 2 避難所運営本部の運営要領の検討	1 避難所運営本部の確立、避難所運営計画・避難生活計画書等の作成 2 学校からの引継ぎ、避難所支援班との連携、管理・運営要領の確立
I 運営体制 の確立	① 避難所運営体制の確立 ② 避難所の指定 ③ 初動の具体的な事前想定 ④ 受援体制の確立 ⑤ 在宅避難者対策・帰宅困難者	① 避難所運営要領の検討（避難所立上げ組織、避難所運営組織の編成） ② 第1次避難所、市指定広域避難所の指定 ③ 避難所運営マニュアルの作成・訓練の実施 ④ 食料・物資・ボランティア等の受入、医師・看護師の救護・巡回 ⑤ 在宅避難民の安否確認方法の検討
II 避難所 の運営	⑥ 避難所運営サイクルの確立 ⑦ 情報の取得・管理・共有、発信 ⑧ 食料・物資管理 ⑨ トイレの確保・整理 ⑩ 衛生的な環境の維持 ⑪ 避難者の健康管理 ⑫ 寝床の改善 ⑬ 衣類の確保・配布 ⑭ 入浴	⑥ 避難所運営の実施手順の確立 ⑦ 衛星携帯等通信手段・電源の確保、避難所掲示板、マスコミ対応 ⑧ 物資供給計画の作成、在宅避難者用物資の配布体制の確保 ⑨ 災害用トイレの確保（運搬）・管理計画、汲み取り業者との協定 ⑩ ゴミ集積場所の設置、食品管理方法・手洗い等健康チェック方法 ⑪ 避難者の健康管理シートの作成、感染症等予防の取組み ⑫ 寝床スペースの確保・配分（要考慮者優先）、毛布・段ボール確保 ⑬ 衣類（下着等）確保・配布要領の検討 ⑭ 入浴施設、ホテル・旅館、保養所等の協定締結
III ニーズへ の対応 ・ IV 避難所 の解消	⑮ 配慮が必要な方への対応 ⑯ 女性・子供への配慮 ⑰ 防犯対策 ⑱ ペットへの対応 ⑲ 避難所の解消に向けての	⑮ 要考慮者の避難所滞在可能性の検討、各福祉避難所施設との協定 ⑯ 女性・妊婦、子供などの避難所生活考慮事項の確認 ⑰ 避難所における防災対策の検討警察との調整 ⑱ ペット飼育管理ルール確立の検討 ⑲ ホテル等の二次避難所の活用の検討、ライフライン事業者との連携

震災における避難所運営業務（その2）

区 分	初 動（発災当日）	応急期・復旧期・復興期
市災害 対策本部 支 部	1 被害状況（人的、物的被害）の把握 2 災害対策本部会議の実施（市指定広域避難所開設の決定） 3 支部及び避難所派遣職員の派遣・受入れ	1 継続的な避難所支援 2 仮設住宅の整備 3 避難所からの退所支援
学 校 （施設管理 者）	1 学校内被害状況の確認（児童・生徒の安否、施設等の被害状況） 2 災害対策本部・避難所運営本部の設置、市教育委員会・災対本部への報告 3 初動対応（応急危険度判定受け、避難者の受入れ、備蓄物資の配給など）	1 避難所運営本部運営の自主 防災会への移管 2 学校業務の再開準備・再 開
自主防会	1 避難所運営本部の設置、運営本部会議（1～2回／日）の開催 2 支部災害対策本部との連携、避難所の管理・運営（避難者の受入れなど）	1 自防災会による主体的運営 → 避難者主体への移管
I 運営体制 の確立	① 避難所運営体制の確立：避難所運営本部会議の実施 ② 避難所の指定：市災害対策本部会議を経て「市指定広域避難所を開設」 ④ 受援体制の確立：ボランティアの必要性の有無 ⑤ 在宅避難者対策・帰宅困難者：在宅避難者の安否確認・生活支援	（その3）
II 避難所 の運営	⑥ 避難所運営サイクルの確立：避難所の被害状況確認、応急危険度判定 ⑦ 情報の取得・管理・共有、発信：被害状況の把握、情報の入手 ⑧ 食料・物資管理：地域資源（食料）の活用、備蓄物資の配布 ⑨ トイレの確保・整理：トイレ使用ルールの周知・掲示、簡易トイレ配分 ⑩ 衛生的な環境の維持：手洗い方法の周知徹底、防疫資材の確保 ⑪ 避難者の健康管理：健康状態の把握、感染症の予防・対応（食中毒など） ⑫ 寝床の改善：宿泊スペースの確保、毛布等寝具類の配分 ⑬ 衣類の確保・配布：避難者の属性に応じた下着類の確保、 ⑭ 入 浴：水害・土砂災害などで汚れた場合の処置	（その3）
III ニーズへ の対応 ・ IV 避難所 の解消	⑮ 配慮が必要な方への対応：要配慮者の把握・名簿の作成など ⑯ 女性・子供への配慮：授乳室、更衣室等の確保 ⑰ 防犯対策：警備・防犯班による見回り・声かけ、貴重品等の確実な保管 ⑱ ペットへの対応：ペット避難所滞在ルールに基づく管理	（その3）

震災における避難所運営業務（その3）

区 分	実 施 項 目	初動（3日目まで）、応急期（1週間まで）・復興期
I 運営体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ① 避難所運営体制の確立 ② 避難所の指定 ③ 初動の具体的な事前想定 ④ 受援体制の確立 ⑤ 在宅避難者対策・帰宅困難者 	<ul style="list-style-type: none"> ① 避難所運営会議の実施（必要に応じNPO・ボランティア等の参画）、行政職員応援要請、ボランティア派遣要請 ② 車避難者エコノミ症候群防止呼び掛け、指定避難所以外の避難所の把握 ④ 多様なニーズに対応するためのボランティアの要請、行政職員応援要請 ⑤ 在宅避難者への生活支援
II 避難所の運営	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 避難所運営サイクルの確立 ⑦ 情報の取得・管理・共有、発信 ⑧ 食料・物資管理 ⑨ トイレの確保・整理 ⑩ 衛生的な環境の維持 ⑪ 避難者の健康管理 ⑫ 寝床の改善 ⑬ 衣類の確保・配布 ⑭ 入浴 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 避難所運営方針の決定、運営ルールの確立、運営会議（定期）の実施 ⑦ 避難者の安否照会対応、避難所開設状況の周知、マスコミ対応、生活支援情報の仕分け掲示板による掲示、ライフライン復旧情報の確認・提供、携帯電話等充電手段の確保、在宅避難者への支援情報の発信、地域被害状況の集約 ⑧ 避難所・在宅避難者別の必要食数の把握・報告、食料数量・衛生的管理、炊き出し調理器具・食材の確保、暖かな食事の提供・栄養面の配慮、個人属性に応じた栄養面への配慮、在宅避難者への食料・物資配布 ⑨ 避難所汲み取り計画（回収場所・順序・回数）の作成、使用済み携帯トイレ（便袋）の保管場の確保、感染症患者専用トイレの確保 ⑩ 防疫活動、ハエ・蚊等害虫対策、トイレの衛生的管理、調理担当者の検査 ⑪ 暑さ・寒さ対策、健康相談窓口の確保、心のケア専門相談、持病への対応 ⑫ 段ボールベッド等簡易ベッドの設置、プライバシーへの配慮 ⑬ 体型、季節に合った衣類の確保、洗濯場（洗濯機・乾燥機）の確保 ⑭ シャワー・風呂の確保、入浴計画の作成、開設場所の情報発信
III ニーズへの対応 ・ IV 避難所の解消	<ul style="list-style-type: none"> ⑮ 配慮が必要な方への対応 ⑯ 女性・子供への配慮 ⑰ 防犯対策 ⑱ ペットへの対応 ⑲ 避難所の解消に向けての 	<ul style="list-style-type: none"> ⑮ 避難者同士の見守り体制の確保、外国語対応、福祉避難所への移動等 ⑯ 女性特有の物資（生理用品等）の確保、更衣室等の確保 ⑰ 警察による警戒の要請、警察の避難所巡回、犯罪相談窓口の開設 ⑱ ペットの滞在ルールの確立、ルールに基づくペットの滞在 ⑲ 退所目途の把握、生活再建支援情報の周知、二次避難所（ホテル・旅館）への移動